

9月定例議会報告

9月定例議会

浅見議員一般質問

「自然災害から住民のいのちと生活を守る取組について」

問 土砂災害等自然災害時の町の対応について、町はどのような状況下においてどのような情報をもとに危険と捉え準備態勢をとるのか、だが一義的判断をするのか

答 総務課で県の河川砂防システム・気象台ホットライン・気象庁ホームページ等の情報を収集し、町長判断を行う。

問 防災行政無線の活用、防災メーラの発信時期をどのように行うのか示して下さい。

答 防災情報を基に、危険と判断した時に住民に対して防災無線等で注意勧告を行う。

問 町として特に危険と重点を置いている箇所はどこか、また河川の増水時浸水の恐れがある和田河原地区の危険水位をどのようにに設定し避難勧告を出すのか示して下さい。

答 ハザードマップで指定している土砂災害の危険地域を重点としている。横瀬川は県の管理の1級河川であるので、情報共有して雨量情報をもとに判断する。

「横瀬町の林業振興について」
問 荒廃しつつある森林を再生させ、林業の振興を図るのは町の責務と考えます。

①横瀬町においての森林環境税（仮称）の予想される納付額はどの程度になるか概算額を示して下さい。

答 個人住民税に一人千円を賦課し、平成30年度を基に算定すると412万8千円となります。

問 森林環境税と税の使い方にについて、何よりも担い手の育成が大事です。どのように育成を図っていくかを示して下さい。

答 町単独でなく、1市4町で取り組んでいくが直ぐ直ぐに人材育成は無理なので、県の林業技術者研修事業への参加が適切と考えている。

④県営森林管理道「二子線」について。現在入り口は閉鎖、工事の進展は止まっています。森林管理道としての使い方は制限もあると思いますが、国道299号線の道の駅あしがくぼでの交通渋滞緩和としての利用方法も考慮して全線開通を目指すべきと考えます。

経緯と今後の進め方について町の考えを示して下さい。

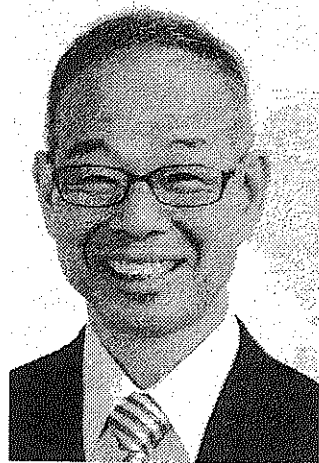
答 残り距離は3000mであるが、工事再開かこのままか、どちらが町のためになるかを考慮すると、今すぐに再開判断は難しい。交通渋滞の緩和策としての林道活用は無理です。

「育英奨学資金の拡充について」

問 返済不用の奨学金を導入しようとする考えがあるか示して下さい。

答 目的、要件が重要であり、限られた予算の中での給付型奨学金の導入は難しい。

12月定例議会報告



浅見裕彦議員

12月定例議会

浅見議員一般質問

公文書管理について

公文書の意義として民主主義の根幹は、国民が正確な情報を自由にアクセスし、それに基づき正確な判断を行い主権を行使することにある。国の活動や歴史的事実の正確な記録である「公文書」は、この根幹を支える基本的インフラであり、過去・歴史から教訓を学ぶとともに未来に生きる国民に対する説明責任を果たすために必要不可欠な国民の貴重な共有財産である。

問 「公文書」は、未来に生きる国民に対する説明責任を果たすために必要不可欠な国民の貴重な共有財産です。公文書の定義と管理はどのようなになっているか

答 総務課長 公文書とは町公文例規程に定めた、職員が職務権限に基づき作成した文書である。管理は保存基準に従い戦前文書を含めて保管場所で保存している。

人権教育と今後の進め方

問 人権教育の今後の進め方はどうか「みんなが助けあい心の触

れ合いを大切にする絆の強いまちづくり」は学校教育だけでなく町全体の課題でもあると考えます。町としての方向性も示してください。

答 教育長 人とつながる力の醸成に努める。

国民健康保険税の減免について

問 国民健康保険税は生まれたばかりの赤ちゃんにも均等割りか課せられています。子供の均等割りに課せられている税額について、今年度予算から口全ての子供を対象にした場合口第二子からの子供を対象にした場合口第三子から対象とした場合を世帯数と人数、減免額を示してください。

答 すべての子供を対象とした場合

92世帯
159名 3、227、700円

第二子から対象とした場合

52世帯
67名 1、360、100円

第三子から対象とした場合

9世帯
15名 304、500円

問 子供への均等割りは減免すべきではないか。

答 いきいき町民課長 負担の公平性を考慮し慎重に考えて行く。

奨学金の拡充について

問 給付型奨学金制度を導入したかどうか。

答 町長 財源とセットで支援する仕組みを考える。